

令和元年11月14日  
(2019年)

保護者の皆さまへ

吹田市立古江台中学校  
校長 森田 直樹

## 令和元年度 全国学力・学習状況調査の分析について

本年度、3年生を対象として「令和元年度全国学力・学習状況調査」を実施し、9月上旬に個人ごとの結果をお返ししました。また吹田市でも、今回実施した調査結果の概要を吹田市のホームページを通じて公表しております。

この調査は中学校の最終学年のみを対象とした調査であり、教科も国語・数学・英語に限られ、測定されたものは学力の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。そのことをまず踏まえつつ、調査によって得られた課題を明らかにし、その改善に全力を注ぐことが、調査本来のねらいであると考えています。

対象となった3年生を含め本校生徒には、よりきめ細かな指導ができるよう取り組みを進めるとともに、学校全体として課題に応じた、学力向上につながる具体的な指導法の工夫改善も図ってまいります。各ご家庭におかれましても、以下の分析結果をもとに、今後の家庭学習の指針として、参考にさせていただきますようお願いいたします。

## 1. 教科に関する調査結果の分析

### 【 国 語 】

#### 《 概 要 》

- どの領域でもすべての問題で平均正答率が全国値を上回っていました。
- 無回答率は全国値を下回っていました。問題の過半数が「無回答率ゼロ」となっていることから、前向きな学習意欲が定着していることがうかがえます。

#### 《 各領域の成果と課題 》



### 国語における成果と課題

#### ＜ 全 体 ＞

- ・ 全ての問題で正答率が全国値を大きく上回り、良好な結果が見られました。
- ・ 必要に応じて自身の考えや意見を適宜アウトプット（話す・聞く・読む・書く）できるよう、引き続き、読書や作文・小論文、発表などの学習を通して「論理的に物事を考える力」を育成していきます。
- ◇ 話すこと・聞くこと
  - ・ 正答率が高く良好な結果が見られました。無回答率も低く意欲的に取り組んでいることがうかがえます。
- ◇ 書くこと
  - ・ 正答率が高く良好な結果が見られました。無回答率も低く意欲的に取り組んでいることがうかがえます。「書くこと」の3年間の取り組み（国語の授業内及び総合・道徳等の授業などで数多く「書くこと」を実践）の成果が出ていると考えられます。
- ◇ 読むこと
  - ・ 正答率が高く良好な結果が見られました。無回答率も低く意欲的に取り組んでいることがうかがえます。
- ◇ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項
  - ・ 正答率が高く良好な結果が見られました。無回答率も低く意欲的に取り組んでいることがうかがえます。漢字の反復練習や朝読の成果が出ていると考えられます。
  - ・ 書写、古典作品等の1、2年時で学習した内容が定着しています。
  - ・ 封筒を郵送する場合の宛名の書き方など、SNSの発達により日常生活で経験することがなくなりつつある事柄については、授業で取り組む（1回程度）だけでは定着率が芳しくないため、年賀状の季節や職業体験学習後のお礼状書きなど3年間を通して取り組んでいくことが大切だと考えます。

《 具体的な成果と課題・今後の指導改善点について 》

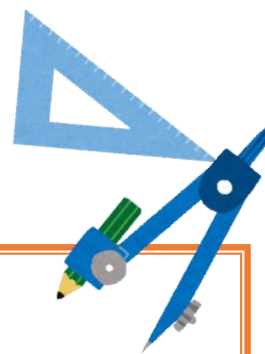
- ・ 今回の調査から、日ごろの学習成果と生徒の日常の努力を確認することができました。
- ・ 漢字の反復練習や朝読など、地道な学習の積み重ねが成果として表れています。
- ・ 「読むこと」「書くこと」に必要な「語彙力」を増やし、「言葉の意味」を正確にとらえることができるようにするため、引き続き、授業の中で多くの美しい文章や種々様々な知識に触れる機会を設けるよう努めていきます。
- ・ 資料を活用して読み解いたり、資料から自分の意見や考えを伝えたりする上で必要な「論理的思考力」の向上に取り組みます。
- ・ 日常の授業を通して「学習に向き合う真摯な姿勢」「何事も諦めない姿勢」を育み定着させるために、引き続き「個々の能力の把握」「一人一人の可能性を認め励まし自己肯定感を高められるような工夫」に取り組みます。

【 数 学 】

《 概 要 》

- どの領域でもすべての問題で平均正答率は全国値を上回っていました。
- 無回答率も全国値を下回っており、前向きな学習姿勢が定着しています。

《 各領域の成果と課題 》



数学に関する問題

＜ 全 体 ＞

- ・ 全ての問題で、正答率が全国値を大きく上回っていました。
- ・ 解く過程を普段の授業から考えていることで、説明する力や考える力が生徒に身につけてきています。

◇ 数と式

- ・ 計算や基礎知識を問う問題は相当数の生徒が理解できており、正答率が高く無回答率も低いです。

◇ 図形

- ・ 全体的に正解率が高い。ただ、理由を考える問題では課題が残り、いろいろな角度から考えることを、普段の授業から増やしていく必要があります。

◇ 関数

- ・ 文章を読み取る問題で、全体を把握して答えを出すことが不得意な生徒が、ほかの問題に比べると多い。日常の出来事と関連させて、考えることが必要です。

◇ 資料の活用

- ・ ヒストグラムを読み取ることに課題がありました。

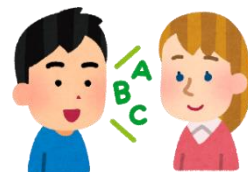
《 具体的な成果と課題・今後の指導改善点について 》

- ・ 今回の調査から、どの領域においても高い正答率のものが多く、生徒の日頃の努力の成果や意欲の高さが確認できました。
- ・ 順序立てた説明をする力も少しずつついてきているようです。
- ・ 文章や、グラフを読み取る力に課題がありました。普段の授業から日常の出来事と関連して考える内容の設定を増やす必要があります。
- ・ 少人数授業を通じて、文章や図から情報を読み取る力や、説明する力を養っていけるよう、個に応じた指導を行う必要があります。

## 【 英 語 】

### 《 概 要 》

- どの領域でもすべての問題で平均正答率は全国値を上回っていました。
- 無回答率も全国値より低く、前向きな学習姿勢が定着しています。



### 《 各領域の成果と課題 》

#### < 全 体 >

- ・ 全ての問題で、正答率が全国値を大きく上回っていました。

#### ◇ 聞くこと

- ・ 正答率は全国値を上回っており、良好な結果が見られました。全国値において無回答率が高い問題においても、本校の無回答率は低く、意欲的に問題に取り組んでいることがうかがえます。

#### ◇ 読むこと

- ・ 正答率は全国値を上回っており、良好な結果が見られました。無回答率も全国値より低く、意欲的に問題に取り組んでいることがうかがえます。

#### ◇ 書くこと

- ・ 正答率は全国値を上回っており、良好な結果が見られました。無回答率も全国値より低く、意欲的に問題に取り組んでいることがうかがえます。
- ・ 与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書く問題は、全国値では正答率の低い問題でした。本校でも全国値を上回ってはいるものの、正答値が低く、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書くことが不得意な生徒が、ほかの問題に比べると多いことがわかりました。まとまりのある文章を書く力をつけることが必要です。

### 《 具体的な成果と課題・今後の指導改善点について 》

- ・ 今回の調査から、どの領域においても高い正答率のものが多く、生徒の日頃の努力の成果や意欲の高さが確認できました。
- ・ 書くことの領域の正答率が聞くこと、話すことに比べて低く、書くことへの解答に課題が見られました。
- ・ 聞くことの領域においては、聞いて把握した内容について、適正に応じることができる力に課題がありました。
- ・ 読むことの領域においては、書かれた内容に対して、自分の考えを示すことができるよう、話の内容や書き手の意見などをとらえる力に課題がありました。
- ・ 書くことの領域においては、与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書く力に課題がありました。
- ・ 少人数授業を通じて、適切に応じる力や自分の考えを示す力、まとまりのある文章を書く力を養っていけるよう、個に応じた指導を行う必要があります。

## 2. 生活習慣や学習環境に関する調査の分析

### 【自分自身のことについて】

- ・ 「自分にはよいところがあるか」は全国値をやや上回っていました。
- ・ 「新聞を読んでいる。」は全国値を上回っていました。
- ・ 「今住んでいる地域の行事に参加しているか」は全国値を下回っていました。
- ・ 「人の役に立つ人間になりたい」は全国値を上回っていました。
- ・ 「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦をしているか。」の割合は全国値を下回っていました。



### 【家庭生活・生活習慣について】

- ・ 「朝食を毎日食べている。」「家の人と学校での出来事について話をする。」は全国値を上回っていました。
- ・ 「毎日同じくらいの時刻に就寝・起床している。」は全国値をやや下回っていました。
- ・ 放課後の過ごし方について、部活動をしている割合が全国値と比べてやや上回っていました。
- ・ 「家で自分で計画を立てて、勉強しているか」は、全国の割合を上回っていました。



### 【学校生活について】

- ・ 「学校に行くのが楽しい。」の割合は全国値を上回っていました。
- ・ 「先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う。」については全国値よりやや上回っていました。
- ・ 「学校の規則をまもっているか」は全国値よりやや上回っていました。
- ・ 「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思うか」は全国値とほぼ同じでした。
- ・ 「外国の人と友達になったり、外国のことにもっと知りたいと思っていますか。」「日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思うか。」の割合は全国値を上回っていました。

### 【学習習慣について】

- ・ 学校の授業時間以外に、普段（月～金）、2時間以上勉強している生徒の割合は、全国値を上回っていました。
- ・ 読書について、学校の授業時間以外に、普段（月～金）、「全くしない」と回答した生徒の割合は全国値を下回っていました。



## 3. 今後の取組について

今回の調査の結果を踏まえ、本校では、生徒達に自主・自律の力を育むことを目指し、基礎的・基本的な知識と技能の習得の徹底と、思考力・判断力・表現力の向上を図るため、教職員個々の指導力の向上と授業の質的向上に努めてまいります。そのために、授業方法の工夫改善に努めるとともに、少人数授業を充実させ、個に応じたきめ細やかな指導を推進していきます。

ご家庭におかれましては、学校生活についてお子様とたくさん会話する時間を持っていただきたいと思っております。また、お子様の学習課題や学習習慣について、毎月発行している「学習ナビ」をご活用いただく等、お子様の学習意欲の向上と学習習慣の定着に向けてご協力くださいますようお願い申し上げます。

今後も、子どもを中心にご家庭としっかりと連携し、教育活動をすすめてまいります。ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。